

2023年度

2022年度

2021年度

2023 年度

前期 回収授業数 21458

回収率

98.7%

後期 回収授業数 19221

回収率

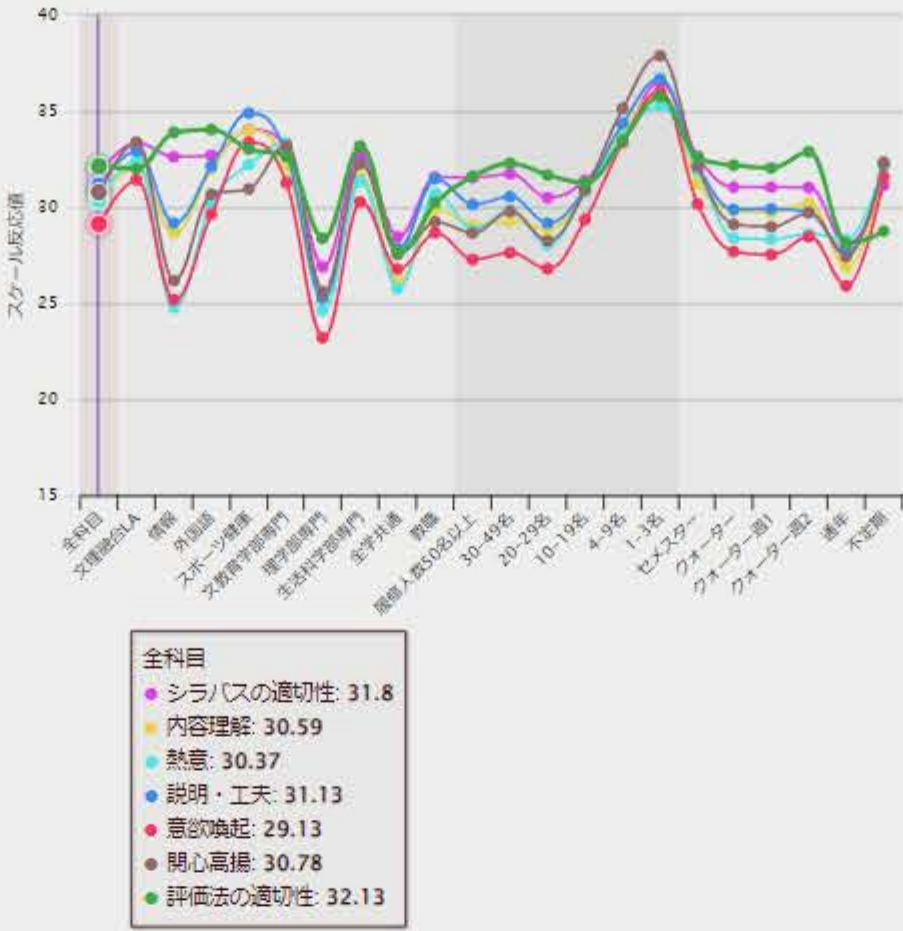
97.3%

ここで「授業数」とは、のべ数です。学生Aの回答した授業数が10で学生Bの回答した授業数が5であれば、回収授業数は15という算定です。なお本学の学士課程在学学生数は約2000名です。

スケール反応値平均

補足

設問文の全体



全科目
● シラバスの適切性: 31.8
● 内容理解: 30.59
● 熱意: 30.37
● 説明・工夫: 31.13
● 意欲喚起: 29.13
● 関心高揚: 30.78
● 評価法の適切性: 32.13

実査概要

方 法

当システムのweb調査で、設問ごとに学生が履修した授業すべてに自由評定尺度によるリニア・ループリック法により回答を収集

実査期間

前期2023年7月31日～10月17日 後期2024年2月9日～4月26日

回答対象者

履修生(学士課程正規学生のみ)

回収結果

学士課程正規学生が受講した授業について、左端枠参照

無効回答の基準

すべての設問について無反応で返却（最終設問まで進み完了）した場合、それ以外は有効回答

有効回答率

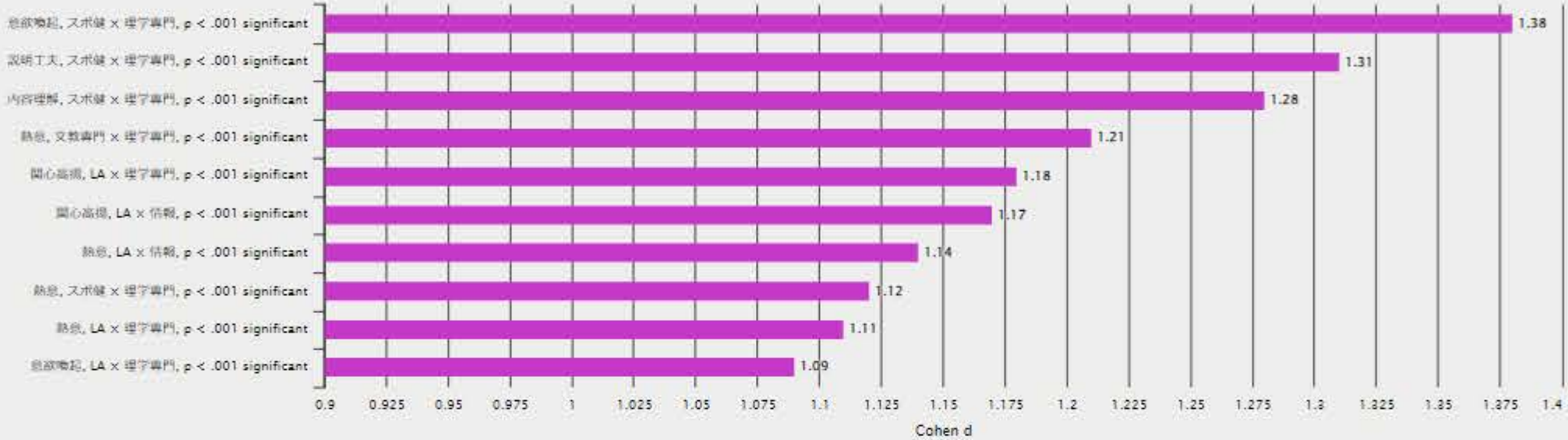
学士課程正規学生が受講した授業について、回収授業数に占めた割合 前期96.6% 後期94.4%

スケール反応値

-50～50の範囲の自由評定尺度上になされた回答反応値のこと。

効果量 トップ10とその有意差検定結果

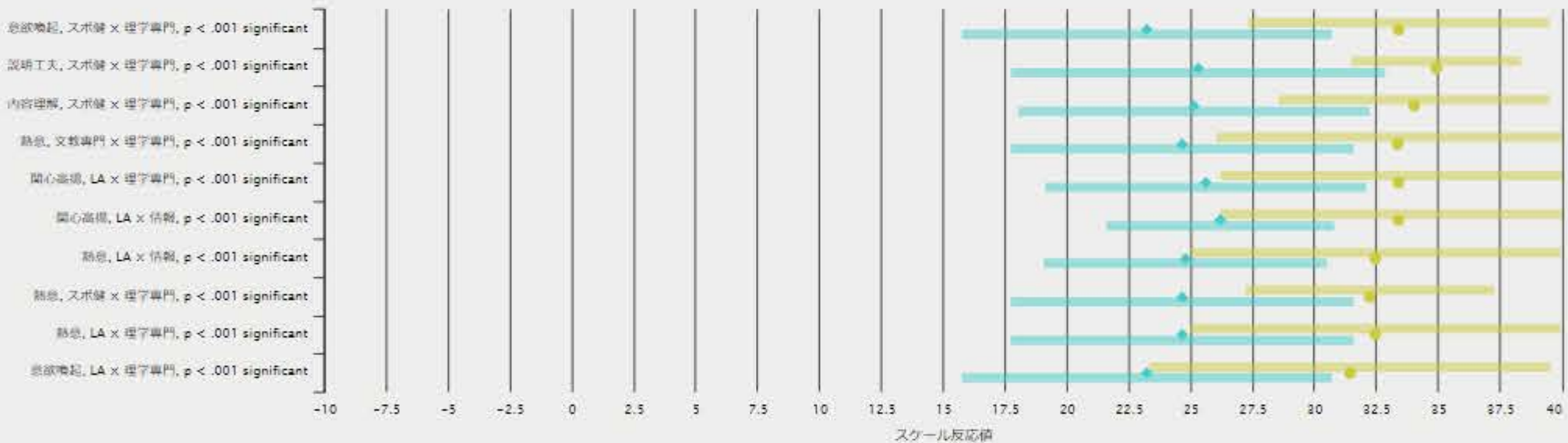
説明



※ 設問2「授業外学修時間」は差異が大きい関係が多かったため、ここでは除いてあります。

効果量トップ10の有意差検定結果、各平均値、標準偏差分布

説明



※ 前項と同様。グラフと科目群対の対応は【イエロー】×【ブルー】

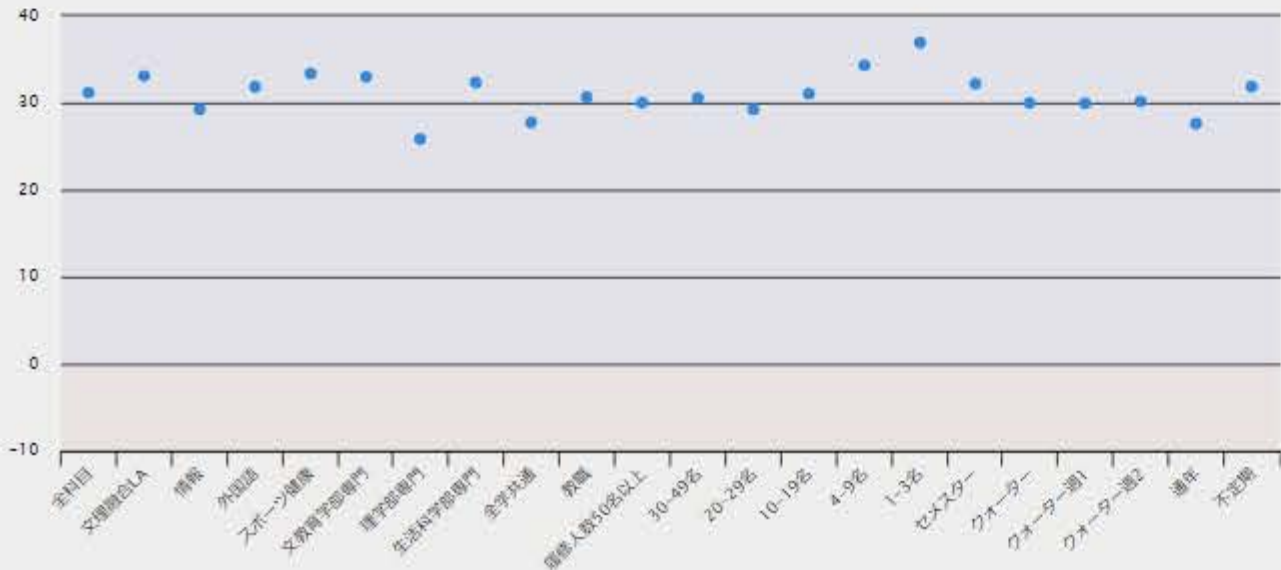
設問毎、属性群間の有意差検定結果・効果量一覧

説明

Search:									
設問	左項×右項	左項スケール反応値平均	右項スケール反応値平均	左項度数	右項度数	Welch's t	Welch's 検定結果	効果量 Cohen's d	効果量 Hedges' g
授業外学修	外国語 × スポ健	0.94	0.17	363	18	22.48	p < .001 significant	2.17	2.17
授業外学修	情報 × スポ健	0.49	0.17	35	18	5.96	p < .001 significant	1.41	1.39
意欲喚起	スポ健 × 理学専門	33.38	23.2	18	233	6.71	p < .001 significant	1.38	1.38
授業外学修	LA × スポ健	0.53	0.17	49	18	6.94	p < .001 significant	1.36	1.34
説明工夫	スポ健 × 理学専門	34.9	25.28	18	233	10.16	p < .001 significant	1.31	1.31

満足度スケール反応値

説明



担当授業ごとの結果

【教員用】

結果

※ このボタンは本学の統合認証が可能な授業担当教員専用です。他の方は使用できません。